

# 神話から学ぶ Part 1

## ズービキティ(汎動物学)の考え方

ズービキティという言葉聞いたことはあるでしょうか？あまり聞き馴染みのない言葉かもしれませんが。ズービキティとは、「人間と動物の病気を一緒に見る」(バーバラ著 2014年)にて提唱された考え方で、人間と動物の健康を同じものとして捉える視点のことを指します。

ヒトとペットなどの動物の病気を切り離して考えるのではなく、人間医学と獣医学の知見を統合することで、より深い理解と治療の可能性を探ることを目指します。コロナ禍を経て、ペット由来のビッグデータをヒトの病気の治療に応用できないか、という視点から、再度注目を集めるようになりました。

## ギリシャ神話に通じる考え方

ズービキティの考え方の軸にある、「ヒトと動物は同じものである」と捉える考え方は、実はギリシャ神話の時代から存在しています。

## ～プロメテウスの神話～



出典: Wikimedia Commons 「縛られたプロメテウス」

ギリシャ神話に登場するプロメテウスは、「毛皮を持たない動物＝人間」を哀れみ、神々の世界から火とことばを盗んで人間に与えたとされています。これにより人間は文明を築く力を得ますが、プロメテウスはその行為によってゼウスの怒りを買ひ、厳しい罰を受けることになります。

この神話は、人間と動物を本質的に同じ存在として捉える視点を含んでおり、現代の「ズービキティ(汎動物学)」の考え方にも通じています。

## 最後に

エア・ウォーター(株)では、みかんの皮を用いた犬の認知症改善に関する論文を投稿し、機能性ペットフードとして動物病院等への提供を目指しています。ズービキティの考え方から、高齢化が深刻となっている日本のヒト社会への実装も視野に入れ、さらに研究を進めて参ります！



『人間と動物の病気を一緒にみる』

医療を変える汎動物学(ズービキティ)の発想

(バーバラ・N・ホロウィッツ、キャスリン・パウアーズ著  
／土屋晶子訳、インターシフト、2014年)

# 神話から学ぶ Part 2

## アスクレピオスの杖とは？

杖に一匹のヘビが絡みついたマークを見たことはありますか？

これは「アスクレピオスの杖」と呼ばれ、医療や医術の象徴として世界中で広く使われているシンボルです。日本でも救急車の側面に、この杖をあしらった青いマークが描かれているので、ぜひ探してみてください。



アスクレピオスの杖 イメージ

## ～アスクレピオスの神話～

アスクレピオスは、ギリシャ神話に登場する半神で、太陽神アポロンを父、人間の女性を母に持ちます。生前、父アポロンは母の不貞を疑って彼女を殺してしましますが、その際に胎内にいたアスクレピオスを取り出し、命を救います。

その後、賢者ケイローン（ケンタウロス）に育てられたアスクレピオスは、医学の才能を開花させ、数々の治療を成功させます。

やがて死者を蘇らせるという究極の医術に到達しますが、これが冥界の王ハデスの怒りを買ひ、ゼウスの雷によって命を絶たれてしまいます。

しかし医師としての功績が認められたアスクレピオスは、死後は医神として天界に迎えられ、「へびつかい座」として星座に加えられました。

## 医療倫理の原点

アスクレピオスが行った死者蘇生は、神々の領域への侵犯であり、この結果、アスクレピオスは命を落とすこととなります。この神話は、「医術は規範と倫理のもとで行われるべきである」という、医療倫理の原点とされています。技術があるからといって、誰もが自由に医療行為を行ってよいわけではなく、社会的なルールと責任のもとで実施されるべきであるという考え方です。

死者蘇生にはヘビの生き血が使用されたとされ、アスクレピオスの杖に絡みついたヘビは医術の力を象徴しています。杖は、医術の力を制御する倫理と規律の象徴とも言われています。現代でも多くの医療団体がこの杖をシンボルとして採用しています。



出典: Wikimedia Commons 「アスクレピオスの大理石像」

## 最後に

エア・ウォーター(株)では、食と医療の研究機能を統合し、「ウェルネス開発センター」を新設しました。あらゆる側面から健康を考え、皆様のウェルビーイングに貢献する研究開発を進めています。分野の壁を越えて新たな領域へ挑戦する今だからこそ、原点に立ち返り、基本を見つめなおすことの大切さを改めて感じています。日常の中で見かけるシンボルマークの意味を知ること、新たな視点の発見につながるかもしれないですね。